

地域のわ通信

Kanagawa-ku
Chiiki ryoku

神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

第5期 神奈川区地域づくり大学校

受講満足度
91.9点

第2講 課外授業 part 1

ちょっと先を行く、身近な先輩から学ぶ

開催概要

- ◆日時：10月6日（日）9:30～15:30
- ◆見学先：①東神奈川公園を利用した地域交流（東部御殿町自治会）
②カフェ3110/^{サイトウフン}（斎藤分町北部自治会）
③六角橋地域ケアプラザ
④さくらサロンみやむかい（宮向自治会）
- ◆受講者：18名（当日参加は17名）



区内で輝いている地域活動の現場をバスで巡った第2講。訪問先は、東神奈川公園を利用した地域交流（東部御殿町自治会）、カフェ3110/^{サイトウフン}（斎藤分町北部自治会）、六角橋地域ケアプラザ、さくらサロンみやむかい（宮向自治会）の4カ所。ちょっと先を行く地域活動の先輩方の話を聞き、地域課題を解決している取組への理解を深めました。

① 東神奈川区公園を利用した地域交流《東部御殿町自治会》

中川 晋一 氏（大学校第1期生卒業生）



自治会館のない町で、地域の人が集まるコミュニティの場として公園を活用しています。毎月1回、低予算、楽しい行事、参加型をキーワードに、公園清掃の日に合わせて小さなイベントを実施しています。近隣の保育園や施設に声をかけ、公園花壇の整備にも協力してもらっています。子どもを巻き込むと親にも情報が広がり効果大です。活動を継続するカギは「無理しない」「予算をかけず知恵を出す」ことなどです。

② カフェ3110 / 《斎藤分町北部自治会》



仁井田 敏夫 氏 (斎藤分町北部自治会副会長)
佐々木 光枝 氏 (大学校第3期卒業生)

地域の居場所として重宝されている地域カフェ「カフェ3110」は、自治会副会長の仁井田さんや大学校の卒業生である佐々木さんが六角橋地域ケアプラザ主催「コーヒーボランティア養成講座」を受講したのをきっかけにオープンし、自治会関係者が協力して運営しています。こだわりは、カフェマスターである仁井田さんが淹れるハンドドリップのコーヒーや手作りのおしゃれなお土産など。定期開催の地域カフェは、常連客のゆるやかな見守りにもつながっています。

③ 六角橋地域ケアプラザ



原島 隆行 氏 (地域交流コーディネーター)

地域ケアプラザは神奈川区内に7カ所あり、高齢者、子育て、障害のある人など誰でも地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点として様々な取組をしています。地域交流コーディネーターは、自治会町内会をはじめ地域のあらゆる方々や団体と関わって事業を進めています。

④ さくらサロンみやむかい《宮向自治会》

岐部 文明 氏 (宮向自治会会長)



宮向団地は、入居から40数年が経ち高齢化が顕著となり、隣近所が助け合える関係を作りたいという思いから地域サロンを開催しています。参加者とスタッフの境目がなく、みんなで楽しむことを目指しています。特に男性の利用が多いサロンになっています。

活動を始めるコツは「深く考え過ぎずやってみる。やらなければゼロ」「肩肘はらず気楽に」「企画は参加者目線で」など、とにかく活動を楽しむことです。